

今年の梅雨の見通し等について

1 今年の梅雨の見通しについて

2 地域防災支援強化の取り組みについて

3 線状降水帯に関する情報

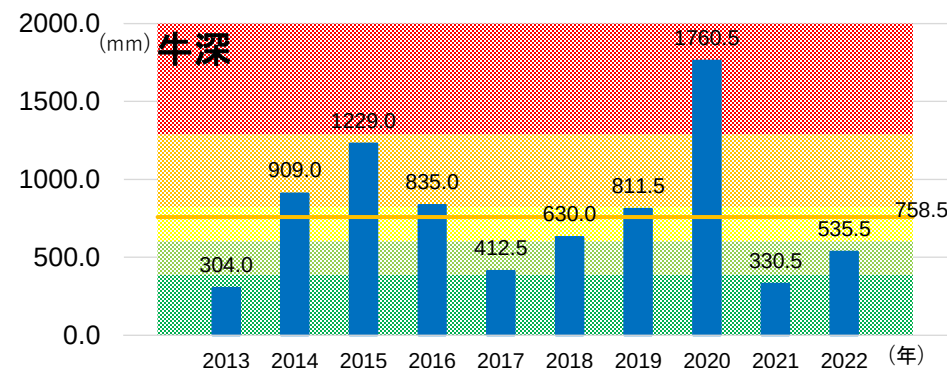
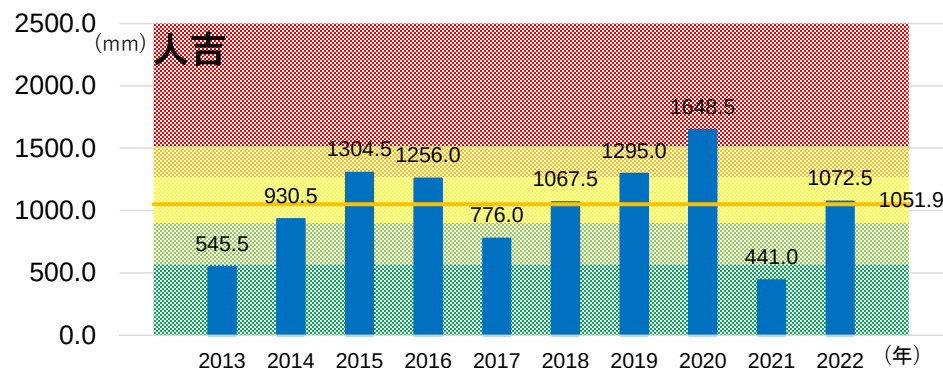
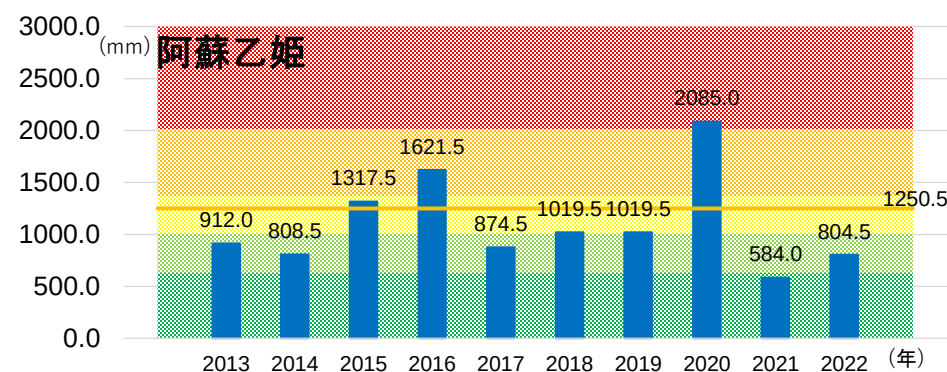
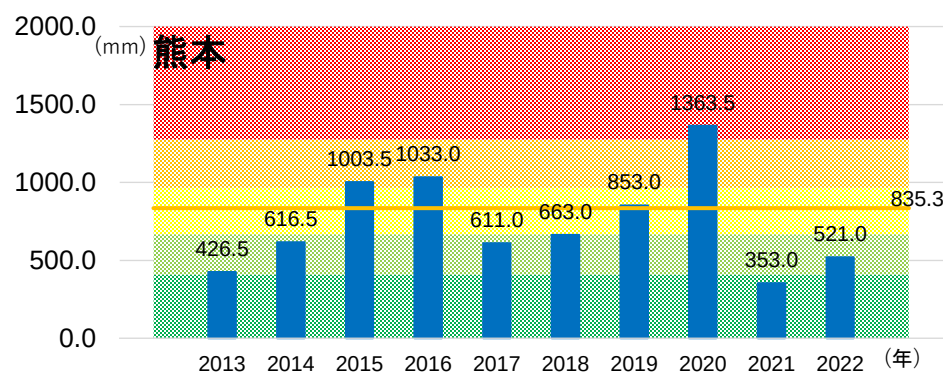
4 (参考) キキクルのご紹介

九州北部地方の梅雨入り、梅雨明け日

【平年値】 梅雨入り：6月4日頃、梅雨明け：7月19日頃

※九州北部地方：山口県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県

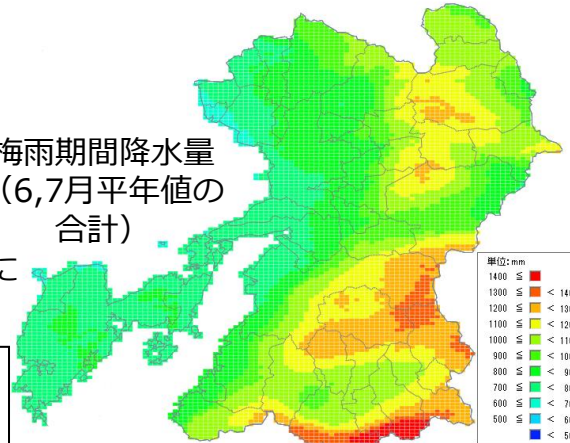
熊本県内主要4地点における梅雨時期の合計降水量(2013年以降)



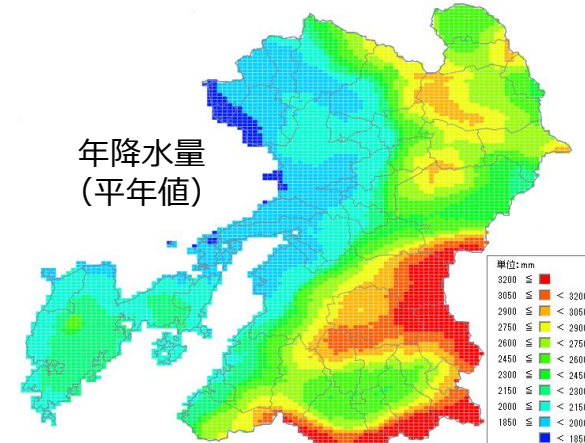
平年値

かなり多い 多い 平年並 少ない かなり少ない

梅雨期間降水量
(6,7月平年値の
合計)



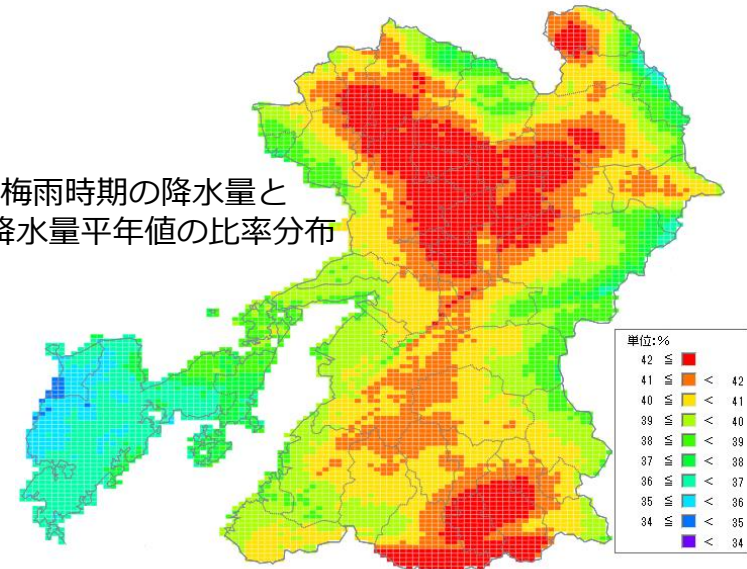
年降水量
(平年値)



平年値（1991～2020年）による、年間降水量に占める梅雨期間（6～7月）の降水量の割合

観測地点	平年降水量（mm）		比率 %
	梅雨期間	年間	
熊本	835.3	2007.0	42
阿蘇乙姫	1250.5	3009.6	42
人吉	1051.9	2534.9	41
牛深	758.5	2109.8	36
下関	563.0	1712.3	33
福岡	548.7	1686.9	33
佐賀	693.8	1951.3	36
長崎	628.6	1894.7	33
大分	574.9	1727.0	33
宮崎	855.6	2625.5	33
鹿児島	935.1	2434.7	38

梅雨時期の降水量と
年降水量平年値の比率分布



熊本県内の年間降水量は、九州山地西側の球磨地方や阿蘇地方で特に多い。
 また、年間降水量に占める梅雨期間の降水量の割合が比較的大きいのが特徴。
 たとえば、熊本では年間降水量2000ミリ前後に対し、6～7月の梅雨期間の降水量は800ミリ程度で、
年間降水量の約4割を占める。

今年の梅雨の見通し（6～8月の天候の見通し）

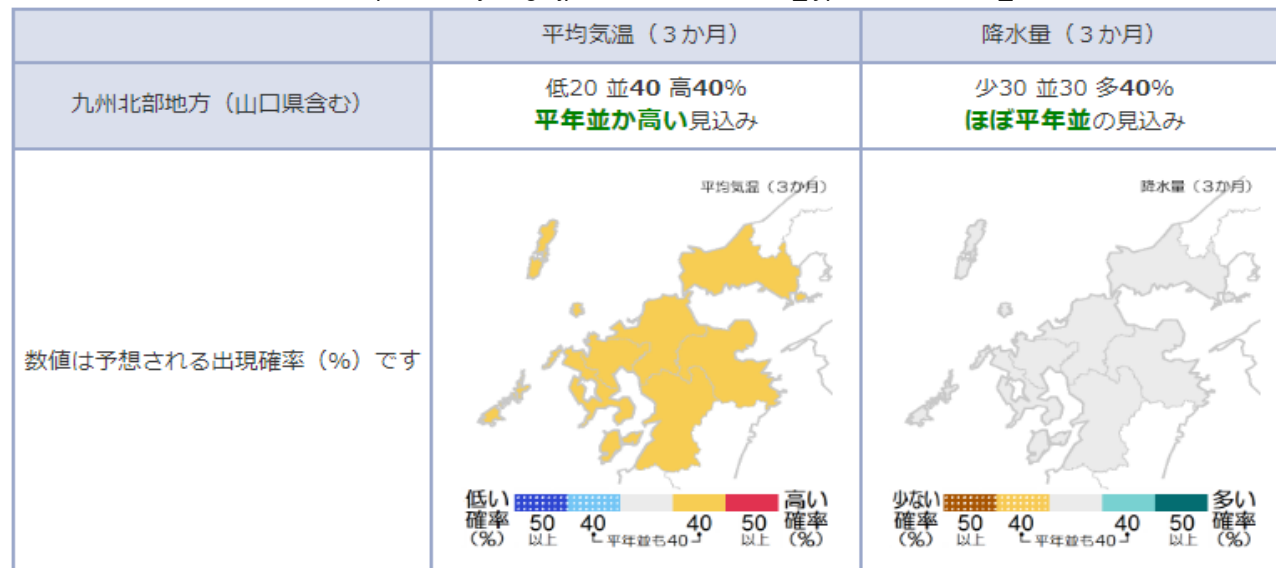


熊本地方気象台

Kumamoto Meteorological Office

九州北部地方の3か月予報（5月23日福岡管区気象台発表）

気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=430000&term=3month



熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に御通知のこと^{※1}に発令されます。
発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

^{※1}北九州、鹿児島、沖縄は前日早朝に発令

外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- ①熱中症を予防するためには、暑さを避けることが最も重要です。
- ②暑熱を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- ③不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

熱中症のリスクが高い方に声をかけましょう

- ①高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。

環境省 熱中症 検閲

より詳しい情報は…
気象庁: <https://www.wggt.mhi.go.jp/>
気象庁: <https://www.jma.go.jp/kishou/know/kurashi/matters.html>

向こう3か月の予報のポイント（6月～8月）

- ◆向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高いでしょう。
- ◆向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

月別の天候

6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
8月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

	降水量 06月	降水量 07月	降水量 08月
九州北部地方（山口県含む）	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

1 今年の梅雨の見通しについて

2 地域防災支援強化の取り組みについて

3 線状降水帯に関する情報

4 (参考) キキクルのご紹介

【地域の防災力の向上を図るため、平時や緊急時において、自治体の災害対応を支援】

- ・「防災意識社会」を担う一員として、自治体、関係機関と一体となって、地域の気象防災に一層貢献
- ・防災気象情報の「理解・活用」（読み解き）が進むよう、平時からの取組を一層促進

平時からの取組により、市町村等関係機関の適時・的確な防災対応判断に貢献

平 時

●市町村等との「顔の見える関係」構築

→ 台長から担当レベルまで、日頃からの関心事項・ニーズの把握など、積極的な交流により、地域目線での情報交換を充実

●災害リスクや情報利活用の研修・演習

→ 市町村や地域コミュニティにおいて実践的な勉強会（気象防災ワークショップ）を計画的・積極的に実施、幅広い知識・スキルの向上を図る
→ 市町村等の行う訓練に、気象シナリオ作成等で積極的に協力し、共同した訓練も実施
→ 関係機関（県、市町村、河川国道事務所等）と連携し、地域防災リーダー向けの防災教育や住民向け普及啓発イベントの実施や協力参加

●防災計画や避難情報マニュアル等への助言

→ 地域防災計画、河川流域タイムライン作成、など、市町村の取組事項へ積極的に参画し助言

●地域に根差した解説・助言

→ 地域の気象、地震、火山、過去の災害・データや、地域の災害リスクを踏まえ、防災への備えや地域産業の興隆等の支援

●関係機関等との連携した取組

→ 火山防災、流域治水の協議会等と積極的に連携し、発生した現象や防災対応などの情報共有
→ 要配慮者関係機関や報道機関、ライフライン・インフラ機関との連携を推進

緊 急 時

●気象台からのコメント（気象台全体で対応）

→ 予報官が市町村や防災機関に特に注目してほしいポイントや今後の見通し等を解説

●台風説明会、記者会見

→ 防災上の留意点、状況の変化を適時に広く周知・解説

●ホットライン

→ 気象台の危機感を首長等に直接電話

●JETTの派遣

→ 災害発生・予見時に県・市町村に職員を迅速に派遣し、状況に応じた適時の解説を行い、関係機関の防災対応を支援

災 害 後

●自治体等と共同で「振り返り」、 平時・緊急時の業務に反映

→ 防災気象情報の内容・タイミング・伝え方、情報の理解・活用力など共同でレビュー

JETT = JMA Emergency Task Team（気象庁防災対応支援チーム）

JETT派遣

JMA Emergency Task Team
気象庁防災対応支援チーム

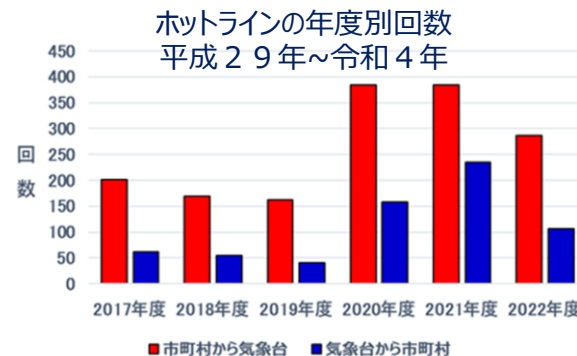
- 令和2年7月豪雨(災害発生は7月4日)
災害発生翌日の7月5日から人吉市、芦北町、八代市、あさぎり町、球磨村へJETTを派遣
- 令和4年は災害級の大雨等はなかったため市町村へのJETT派遣なし

ホットライン

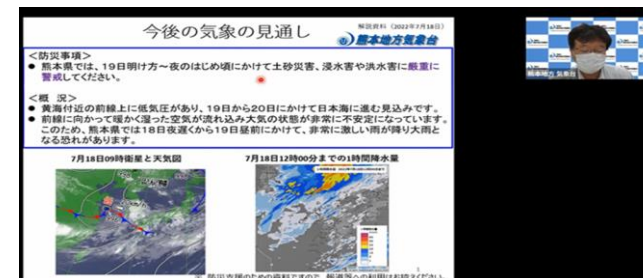
- ・ 大雨時、台風接近時に危機感を伝えるホットラインを実施(106回)
- ・ 気象状況の問い合わせへ随時解説(287回)

警報級の現象が予想された場合の気象解説

- ・ 大雨の警報級の可能性[高]の気象解説:7回
- ・ 台風接近時の気象解説:4回
- ・ 大雪の警報級の可能性[高][中]の気象解説:3回



市町村JETT派遣
(令和2年7月 人吉市)



大雨[高]の気象解説 令和4年7月18日

避難確保計画

- 平成28年台風第10号での教訓（河川の氾濫により高齢者施設で死者が発生）
⇒ 避難確保計画の作成義務化
- 令和2年7月豪雨での教訓（避難確保計画を作成していたにもかかわらず高齢者施設で死者が発生）
⇒ 要配慮者利用施設におけるより一層の避難の実効性確保に向けた対策が必要

個別避難計画

- 平成23年東日本大震災での教訓
（死者数のうち、高齢者が約6割、死亡率では、障害者が被災住民全体の約2倍）
⇒ 避難行動要支援者名簿の作成義務化・個別避難計画の作成
- 近年の災害でも高齢者・障害者が犠牲（令和元年東日本台風では約65%、令和2年7月豪雨では約79%の死者が高齢者）
⇒ 個別避難計画の作成が努力義務化され、優先度が高い者について、概ね5年程度で作成

気象台の支援

- 避難確保計画や個別避難計画の作成に関する説明会等を自治体と連携して実施
- 要配慮者施設や自治会（自主防災組織）等、地域における関係団体との対話を通じた防災気象情報の理解の促進
- 避難訓練の計画段階からの助言（防災気象情報の模擬提供等）

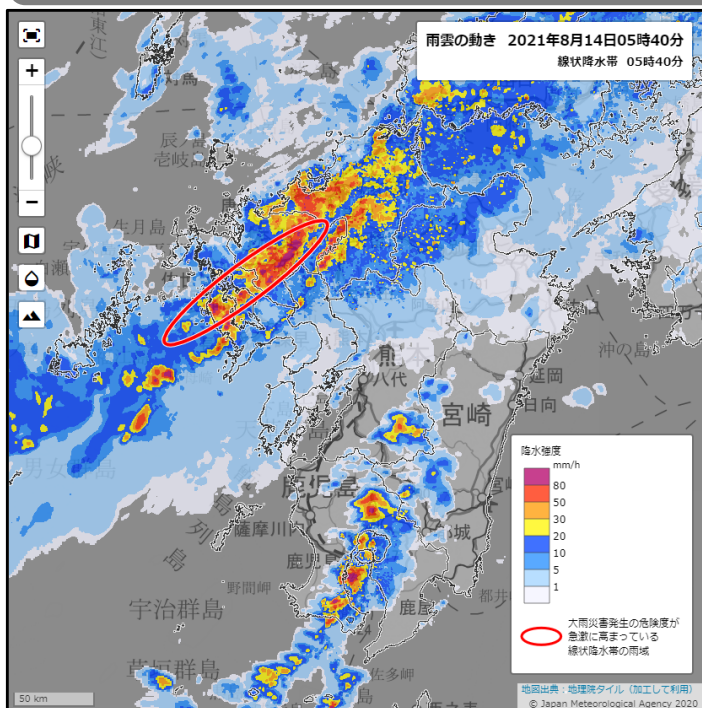


期待される効果

- 防災気象情報の理解が深まることで、避難確保計画や個別避難計画の実効性を高める
- 現実に即した訓練を実施することで、適切なタイミングでの避難を判断するスキルを養う

- 1 今年の梅雨の見通しについて
- 2 地域防災支援強化の取り組みについて
- 3 線状降水帯に関する情報
- 4 (参考) キキクルのご紹介

■ 令和3年6月 顕著な大雨に関する気象情報



「線状降水帯」というキーワードを使った顕著な大雨への注意喚起を開始

命に危険が及ぶ〇〇災害や〇〇による災害発生の危険度が急激に高まっています。

 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

■ 令和4年6月 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

線状降水帯による大雨発生の可能性が高い場合に、複数の県にまたがる広域を対象に、線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度前から気象情報において呼びかける改善を実施。

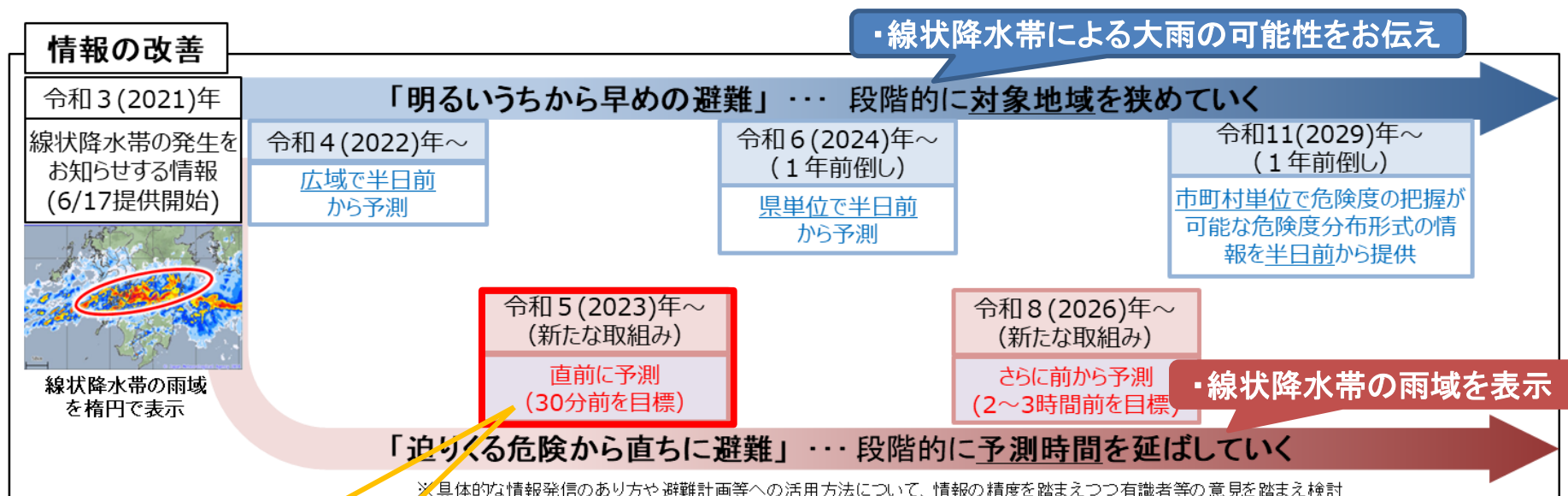
〇〇地方では、〇〇にかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

線状降水帯に関する情報（今年度の改善取組）



熊本地方気象台

Kumamoto Meteorological Office



「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在は発表基準を実況で満たした場合に発表しています。

5月25日以降は、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指し、これまでより最大で30分程度早くお伝えします。

【変更となる情報】

1. 「雨雲の動き」と「今後の雨」（気象庁HP）

予測で基準に達した場合は地図上で大まかな場所を赤楕円（破線）で囲って表示します。

2. 発表条件を満たした場合の事例の掲載（気象庁HP）

実況、予測で発表条件を満たした場合の事例（過去1年分）を気象庁HPに掲載します。

- 1 今年の梅雨の見通しについて
- 2 地域防災支援強化の取り組みについて
- 3 線状降水帯に関する情報
- 4 (参考) キキクルのご紹介

大雨による土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まった「地域」の判別のため、以下の3つのメッシュ情報（危険度分布図）を提供しています。

①土砂キキクル（土砂災害の危険度分布）②浸水キキクル（浸水害の危険度分布）③洪水キキクル（洪水の危険度分布）

雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）で雨雲の動きを確認しつつ、併せて**キキクル**を活用して災害発生の危険度の高まりを把握願います。

スマートフォンで閲覧する方法

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

雨雲の動き

キキクル（危険度分布）

警報・注意報
土砂災害警戒情報

早期注意情報（警報級の可能性）

指定河川洪水予報

台風情報

今後の雨（降水短時間予報）

天気予報

府県気象情報

記録的短時間大雨情報

アメダス実況

阿蘇山（中岳）上空の風



雨雲の動き （高解像度降水ナウキャスト） 1時間先までの雨雲 の動きがわかる！

強い雨雲の動き、雷、突風の
危険が事前にわかる！



雨雲の動き



雷活動度



竜巻発生確度



アメダス10分間雨量



■落雷、×雲放電

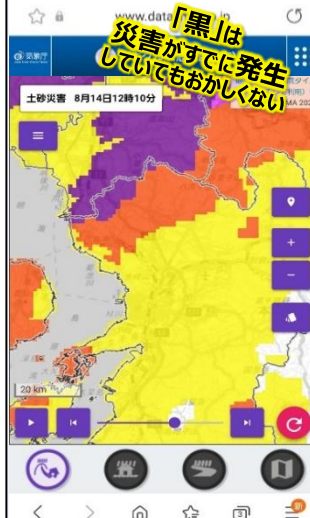


線状降水帯



土砂キキクル（危険度分布） 2時間先までの土砂災害 の危険度がわかる！

危険度が高まっている場所の
土砂災害警戒区域等では、避難の判断を！



「黒」は
災害がすでに発生
しているかもしれない

災害切迫

《命に危険が及び土砂災害がすでに発生しているかもしれない極めて危険な状況。》
この段階の前に避難を完了しておく。

危険

土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する

警戒

土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。高齢者等は速やかに避難する。

注意

ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

今後の情報等に留意

スマートフォンで閲覧する方法



雨雲の動き

キキクル（危険度分布）

警報・注意報
土砂災害警戒情報

早期注意情報（警報級の可能性）

指定河川洪水予報

台風情報

今後の雨（降水短時間予報）

天気予報

府県気象情報

記録的短時間大雨情報

アメダス実況

阿蘇山（中岳）上空の風



浸水キキクル（危険度分布）

1時間先までの浸水害

の危険度がわかる！



危険度が高まっている場所では、
各自の判断で浸水が及ばない場所への移動



災害切迫

《重大な浸水害が切迫。浸水害がす
でに発生している可能性が高い状況》

命の危険
直ちに身の安全を確保

危険

周囲の状況を確認し、各自の判断で
屋内の浸水が及ばない階に移動する。

警戒

安全確保行動をとる準備が整い次第、
早めの行動をとる。。高齢者等は速や
かに安全確保行動をとる

注意

今後の情報や周囲のじ状況、雨の降り
方に注意。ただし、各自の判断で住宅
の地下室からは地上に移動し、道路の
アンダーパスに近づかないにする。

今後の情報等に留意

洪水キキクル（危険度分布）

3時間先までの洪水

の危険度がわかる！



危険度が高まっている河川沿いでは、
水位計等で現況も確認の上で避難の判断を！



災害切迫

《重大な洪水災害が切迫。洪水災害
がすでに発生している可能性が高い状
況》

命の危険
直ちに身の安全を確保

危険

水位が一定の水位を越えている場合に
は安全な場所へ避難する。

警戒

水位が一定の水位を越えている場合は
高齢者等は安全な場所へ避難する。
高齢者等以外の方も、普段の行動を
見合わせ始めたり、避難の準備をし、
自らの避難の判断をする。

注意

ハザードマップ等により避難行動を確認
する。今後の情報や周囲の状況、雨の
降り方に留意する。

今後の情報等に留意

太い線は「指定河川洪水予報」

熊本地方気象台スマートフォン版HP
https://www.data.jma.go.jp/kumamoto/smart/sp_top.htm

- **雨雲の動き**（高解像度降水ナウキャスト）は、「これまでの雨雲の動き」 + 「今後**1時間先までの5分ごと**の雨雲の詳細な動きの予想」を閲覧できます。
- **今後の雨**（降水短時間予報）は、「これまでの雨雲の動き」 + 「今後**15時間先までの1時間ごと**の雨雲の動きの予想」を閲覧できます。

➤出水期前に「住民との災害リスクの共有」、「避難訓練・研修」、「気象情報の利活用の周知」など、対応をよろしくお願い致します。

➤気象台では、新たな取り組みも取り入れつつ、適時的確な防災気象情報の発表を行います。

➤連携を強化しながら、今出水期を乗り越えていきましょう。

災害は忘れる間もなくやってくる。

ご清聴ありがとうございました。